

安全データシート (SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：スキーボンターフ (Skeepon Turf)
会社名：アクプランタ株式会社 (Ac-Planta Inc.)
住所：113-0034 東京都文京区湯島2-16-9 ちどりビル (2-16-9 Yushima, Bunkyo, Tokyo 113-0034, Japan)
担当部門：ー
電話番号：03-4405-1625 (+81-3-4405-1625)
緊急時の電話番号：03-4405-1625 (+81-3-4405-1625)
FAX 番号：03-4333-7701 (+81-3-4333-7701)
メールアドレス：info@ac-planta.com
推奨用途及び使用上の制限：植物の生理活性化 (Physiological activation of plants)。使用上の制限：食品を汚染したり、健康に損害を与えたりする可能性のある用途に使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類：

物理化学的危険性	無し。
健康に対する有害性	急性毒性（経口）：区分 4 皮膚腐食性・刺激性：区分 2 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：区分 2A
環境に対する有害性	無し。

GHS ラベル要素：

シンボル	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	H315：皮膚刺激。 H319：強い眼刺激。 H302：飲み込むと有害（経口）
【予防策】	P264：取り扱い後はよく手を洗うこと。 P280：保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
【対応】	P302+P352：皮膚についた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。 P321：具体的な治療（ラベルに記載された具体的な事故措置を参照する、病院へ診断／手当を受けること）。 P332+P313：皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。 P362+P364：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 P305+P351+P338：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後

	も洗浄を続けること。 P337+P313：眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。 P308+P311：ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。
【保 管】	P102：子供の手の届かないところに置くこと。 P233：容器を密閉しておくこと P235：涼しいところにおくこと
【廃 棄】	P501：内容物/容器を、国際/国/都道府県/市町村の規則（明示する）に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
-------------	-----

成分	含有量 (%)	化学式	官報公示 整理番号 (化審法 安衛法)	CAS No.	化学物質 管理促進 法 (PRTR)政 令番号	労働安全 衛生法 (通知) 対象物 政令番号
水	45.0	H ₂ O	データなし	7732-18-5	対象外	対象外
非公開	<36	非公開	非公開	非公開	対象外	対象外
酢酸	10	CH ₃ COOH	2-688	64-19-7	対象外	別表第9の 176
pH 調整剤	<15	非公開	非公開	非公開	対象外	非公開

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。意識不明者にはいかなる食べ物も提供しない。吐かせないこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
予想される急性症状及び遅発性症状	急性症状：皮膚刺激。強い眼刺激。臓器（血液、呼吸器系）の障害のおそれ。 遅発性症状：無し。
応急措置をする者の保護	適切な保護具（保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面）を着用すること。
医師に対する特別注意事項	具体的な症状により処理すること。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、乾燥砂類。
特有の危険有害性	情報なし。
特定の消火方法	初期消火には炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等を使用する。 ガスの供給を断つ。噴霧ノズル等で散水するなどにより周辺を冷却し延焼防止を図る。 風上から水を噴霧して容器を冷やしながら周囲の消火を行う。 周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移動する。 関係者以外は安全な場所に避難させる。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想

	定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。消火作業を行う者は、空気呼吸器などの保護具を着用し、酸素欠乏および有害ガスから身をまもること。
--	---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 危険でなければ漏出源を遮断し、漏出物に接触しない。
環境に対する注意事項	回収された廃棄物を排水溝、下水溝と河川など流水域に流入しないよう注意する。当地と関係国の法律に従う。
洗浄/収集などの除去方法	漏出物を砂やその他の非可燃物で拭き取り、漏出/流出を防止する。 拭き取り或いは乾燥する不活性物質に吸着させてから、適切な空容器に回収する。 大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 清水で漏出物に汚染された地面を綺麗に洗浄する。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
注意事項	
安全取扱い注意事項	ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
保管	
適切な保管条件	涼しい所/換気の良い場所/乾燥した場所で保管すること。子供が接触できない場所に置くこと。
混触危険物質	強力な酸化剤と酸。
適切な技術的対策	倒壊や落下を防ぐために、あまりにも容器を積み重ねないでください。
容器包装材料	プラスチック（PP または PE など）ボトル。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度：

成分名	OSHA PEL-TWA	ACGIH TLV-TWA	日本産業衛生学会の 許容濃度
データなし	データなし	データなし	データなし
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 粉塵、蒸気、ガスなどが発生する場合、換気装置を設置する。		
保護具			
呼吸器の保護具	普通、特別な要求無し。許容濃度を超える場合あるいは調子が悪くなると感じる場合、検定品である防じんマスクを着用する。		
手の保護具	不浸透性でありかつ丈夫な保護手袋。		
眼の保護具	飛沫が飛ぶ場合には、保護眼鏡をかける。		
皮膚及び身体の保護具	適切な保護具を着用すること。		

衛生対策	休憩の前に、作業終了後は、手洗いを十分に行う。 加工による蒸気を吸入することを避ける。 皮膚や目への接触を避ける。
------	---

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态		
形状		液体 (Liquid)
色		極薄い透明褐色 (Slightly transparent brown)
臭い		酢酸臭 (Vinegar)
臭いのしきい (閾) 値		データなし
pH		5.0- 6.0
融点／凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発速度		データなし
燃焼性 (固体、ガス)		不燃性 (Non Flammable)
爆発範囲	上限	データなし
	下限	データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重 (相対密度)		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度 (粘性率)		データなし
VOC 含有量		データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	通常の使用条件の下で知られている危険な反応はありません。
避けるべき条件	情報なし。
避けるべき材料	情報なし。
危険有害な分解生成物	情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性：	
LD ₅₀ /LC ₅₀ 半数致死量	
急性毒性 (経口)	酢酸 (CAS : 64-19-7) : 急性毒性 (経口) LD ₅₀ =3310、3530 mg/kg (ラット) (NITE-CHRIP)
急性毒性 (経皮)	酢酸 (CAS : 64-19-7) : 急性毒性 (経口) LD ₅₀ =1060 mg/kg (ウサギ) (NITE-CHRIP) 製品分類：区分外
急性毒性 (吸入)	酢酸 (CAS : 64-19-7) : 急性毒性 (吸入：蒸気) LCLo=16000 ppm (ラット) (NITE-CHRIP)

	製品分類：区分外
皮膚腐食性/刺激性	酢酸（CAS：64-19-7）：区分 1
眼に対する重篤な損傷性	酢酸（CAS：64-19-7）：区分 1
呼吸器感作性	分類できない。
皮膚感作性	分類できない。
生殖細胞変異原性	分類できない。
発がん性	分類できない。
生殖毒性	分類できない。
特定標的臓器毒性，単回ばく露	酢酸（CAS：64-19-7）：区分 1（血液、呼吸器系）
特定標的臓器毒性，反復ばく露	情報なし。
吸引性呼吸器有害性	情報なし。

12. 環境影響情報

移動性	情報なし。
残留性／分解性	情報なし。
生体蓄積性	情報なし。
生態毒性	酢酸（CAS：64-19-7）： 水生環境有害性（急性）-区分 3 甲殻類(オオミジンコ)での 48 時間 $EC_{50} = 65000 \mu g/L$ (AQUIRE, 2010) であることから、区分 3 とした。（NITE-CHRIP） 水生環境有害性（長期間） 急速分解性があり（BOD による分解度：74%（既存点検，1993））、かつ生物蓄積性が低いと推定される（ $\log K_{ow} = -0.17$ (PHYSPROP Database, 2009)）ことから、区分外とした。 製品分類：区分外
オゾン層への有害性	情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄の処置に一般に焼却法を使用するように薦める。 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 認定を受けている産業廃棄物処理業者に委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報/航空規制情報	Not applicable
UN No.	Not applicable
Proper Shipping Name	Not applicable

Class	Not applicable
Packing Group	Not applicable
Marine Pollutant (Yes/No)	No
国内規制	
国連分類	該当しない。
国連番号	該当しない。
品名	該当しない。
容器等級	該当しない。
海洋汚染物質（該当・非該当）	非該当。
MARPOL73/78 附属書Ⅱ 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない。
陸上輸送 消防法	該当しない。
海上輸送 船舶安全法	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送 航空法	航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	該当しない。
特別の安全対策	輸送前に包装に破損が無いか、良く密封できているかを検査する；輸送過程において、包装に破損が無く、貨物が落ちないように確保する；消防用と漏出処理用の関連設備を配備する；混触危険物質との共同輸送を禁止する。

15. 適用法令

消防法	該当しない。		
労働安全衛生法			
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物	酢酸（CAS：64-19-7）：別表第 9 の 176 表示の対象となる範囲（重量％）≧ 1 通知の対象となる範囲（重量％）≧ 1		
毒劇物取締法	該当なし		
化学物質排出把握管理促進法 （PRTR 法）	該当なし		
水質汚濁防止法	該当なし		
下水道法	該当しない。		
大気汚染防止法	該当なし		
海洋汚染防止法	酢酸（CAS：64-19-7）：有害液体物質（Z 類物質）（施行令別表第 1）		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）。		
国際法規			
EC No. 1272/2008 分類	成分	危害分類とコード	危害コード
	酢酸（CAS：64-19-7）	Flam. Liq. 3 Skin Corr. 1A	H226 H314
米国有害物質規制法(TSCA)	成分	CAS No.	TSCA 在庫品目

在庫品目)	水	7732-18-5	記入
	非公開	非公開	非公開
	酢酸 (CAS : 64-19-7)	64-19-7	記入
	pH 調整剤	非公開	非公開
米国大気浄化法	成分		
米国水質浄化法	非公開	記入	該当しない
	酢酸 (CAS : 64-19-7)	記入	該当しない
			有毒物質
発がん性関連法令	該当しない。		該当しない

16. その他の情報

引用文献	1. GHS 技術書類 (附属書 3、附属書 4) 2. JIS Z 7252-2014 3. JIS Z 7253-2012 4. 労働安全衛生法 5. 毒物及び劇物取締法 6. 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 7. 消防法 8. 化学物質管理促進法 (PRTR)
当該物質安全データシート の最新修訂日付	2020/3/3
SDS 版	改訂 0
責任免除の説明 以上の情報は参考するものとして、その信憑性が保証できます。当社はユーザーの使用方法及びその結果について何の責任を負いません。ユーザー自身に該当製品の正しい使用方法、またはある目的による生産方法を決定していただきます。上記の注意事項を守れば製品の操作及び使用時に発生するおそれのある財産と人身安全への危害を回避できます。	

*****終わり*****